

平成27年9月18日

瀬戸市長 伊藤保徳 様

提 言 書

～平成28年度予算編成に向けて～

瀬戸市議会では、予算決算委員会において、平成26年度の一般会計、特別会計及び企業会計の全7会計の決算審査を行い、その中で新年度における適切な予算編成に向けての提言を行うべく議論を重ねてまいりました。

その結果、新年度予算編成時に留意していただきたい事項について、別紙のとおり取りまとめましたので、提言いたします。

瀬戸市議会

【提言事項】

1 一般会計に関すること

- (1) 勤労青少年講座においては、若者に焦点を当てた、本来の目的に合致した事業にしていきたい。
- (2) 瀬戸地域アグリカルチャー事業を推進するにあたっては、推進協議会がより主導的な業務遂行を行うとともに、合わせて、負担金や補助金による事業全般において、適正な執行と厳正な管理をしていただきたい。
- (3) 道路等の維持管理に対する市民の要望は非常に多くあり、そのことに対応しきれていない現状がある。その原因としては、予算及び人員不足が原因とされているので、予算枠の拡大と人員の適正化を図っていただきたい。

2 下水道事業特別会計に関すること

- (1) 下水道整備事業計画においては今後も進めて行くべきと考えるが、将来負担を含めた今後の計画の中で、合併処理浄化槽設置整備も含めて検討していただきたい。

3 水道事業会計に関すること

- (1) 水道使用料が減少する中、県水と自己水の供給割合について、施設の老朽化に伴う費用負担を考慮し、自己水源の存続も含めて、今後総合的に見直していただきたい。

以上